

(さつま町)

半歩先のニッチな設備機器とそのサービスで「顧客の課題解決」に取り組む

昭和46年、町の雇用対策の誘致企業として設立されました。加工組立型企业で、主に設備機器及びそのサービスを提供しております。「顧客の課題解決」で特徴付けることを心掛け、顧客ニーズに連動した生産資材のニッチで半歩先の開発を要する製品を製造販売しております。そのビジョンに対応するため、「半歩先の技術・製品開発」や、「生産プロセスのシステム化」を進め、さらにそれらを支える「機能的組織の構築や社員支援システム構築と育成」に取り組んでおります。



アロン社員

会社概要

2024年1月19日現在

■所在地	〒895-2203 鹿児島県薩摩郡さつま町 永野950番地	■代表者	代表取締役 坂元 剛
■TEL	0996-58-0331	■設立	1971年(昭和46年)2月
■FAX	0996-58-0365	■資本金	3,512万円
■E-Mail	aron@aron.co.jp	■従業員数	132人
■URL	http://www.aron.co.jp	■事業概要	装置機器・金型・治工具
		■主要製品	半導体製造装置機器・自動機・省力化機器・画像検査機器・金型・治工具・ラック治具

ニッチで半歩先の生産資材開発

ニッチで半歩先の製品及びプロセス開発を推進するため、営業部から技術部・製造部まで一貫して顧客ニーズの取り組みと開発会議による展開を進めています。

当社は、ニッチな装置機器と特殊な加工技術を強みとしています。当社の自動機・装置技術は、工具チップの成形を行うチップブレーカ加工機や省力化機器が強みとなっています。

部品レベルでは、[加工要素の特徴]複雑な形状加工を可能にする5軸加工、高精度加工の平面度1ミクロン研磨加工、ノズルなどに使われる細穴加工、[特殊材料]吸着パッドのゴム加工、[複合加工]高精度接着を組み合わせた機能部品等を得意としています。



開発会議

生産プロセスのシステム化

高品質またはニッチな装置機器や少量多品種などの顧客ニーズに対応するため、社内プロセスを支援する省力化機器開発やシステム化開発を推進しています。それらを推進するため、技術部と製造部の連携を図り、省力化の仕組みや装置を創造する工場革新会議を推進しています。それらに見える化され、関連支援システムも合わせると現在379件の差別化された強みとなるシステムを構築しています。さらにその成果は、市場評価の指標である顧客満足度91%・社内評価指標の社員満足度83点と各指標に貢献しています。



納期管理システムと電子工程票

社員を支援する仕組み

自らの課題を改善できる社員を育成するため、出力型社員育成や社員を支援する仕組み、教育プロセスを改善する仕組みを構築している。社員は教育メニューを明確化した教育履歴カードにより多能化され、現場での社員の改善会議では年間1万件の課題が出力され解決を図っています。各社員はタブレットを保有し各支援システムで支援を受けています。また、各組織のルールのベースとなる7つの委員会組織、1104の機能組織にて支援を受けています。改善状況は年間33件の創造的改善提案等で出力されるなど見える化され、各個人の改善ポイントとして社員にフィードバックされます。教育状況は教育監査システムにてポイント化され各部門へフィードバックされる仕組みとなっています。



改善会議の様子